

連絡先

〒344-8521  
春日部市粕壁東6-1-1  
TEL. 080-4905-0429  
Mail kasujoog@yahoo.co.jp  
HP https://kasujo-h.spec.ed.jp



埼玉県立春日部女子  
高等学校同窓会  
第22号  
発行 桐川 弘子



# 令和時代に更なる絆を

同窓会長 桐川 弘子  
(旧姓 渡辺・高校15回)

同窓会会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。  
私は、この度、図らずも会長を仰せつかりました第十五回卒の桐川でございます。微力ではございますが、同窓会発展のため誠心誠意努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

前会長の安東様には、百周年記念事業という局面に当たり学校と連携を図りながらの輝かしい成功を契機として、六期十二年、同窓会発展のために多大なご尽力をいただきました。その

柔和で気品のある物腰は同窓会会員の絆をより強固なものへと導き、新たな同窓会運営の基礎を固められました。誠に感謝に堪えません。  
また、前々会長の土屋様は七期十四年努められ、外国語科の設置、県を挙げての共学問題への対応等、学校に寄り添いご尽力されたその偉大なご実績を忘れることはできません。

こうした歴代の会長が築いてこられた同窓会運営のバトンを受けて、今、極めて身の引き締まる思いでございます。おりしも、コロナ禍、全ての活動が中止となる、かつて経験のない中



## 前会長ごあいさつ

顧問 安東 敏子  
(旧姓 島村・高校8回)

同窓会会員の皆様お元気でいらっしやいますか。

同窓会長をお引き受けして十二年余り、皆様には大変お世話になりました。多くの方々との出会いに恵まれ、数々の素晴らしい思い出や感銘が今も深く心に刻まれています。

今振り返ってみますと、母校創立七十周年(PTA会長・後援会長)と百周年・百十周年という記念すべき年に関わることができ、大変嬉しく感謝の気持ちで一杯です。特に百周年記念事業

でのスタートでした。

この中、春日部女子高も昨年は創立百十周年を迎え、卒業生も二万五千人を越えました。時代は、大正、昭和、平成と激動の時代を乗り越え令和へと移り、時代が求める教育内容も大きく変革を遂げてきております。女性の活躍を期待する声は益々高まっており、女子高の存在価値は極めて貴重と認識しております。今年度は百十一年、この百十一年の一一一の年に新たな再スタートの意味を持たせ、母校春日部女子高へのさらなる力強い応援と、青春時代を共に謳歌した仲間との絆を一層深めていければと考えております。  
今後とも学校と連携を図りながら、同窓会活動の充実を図って参りますので、会員の皆様の更なるご協力ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 主な経歴

元小学校長・元宮代町教育委員会教育長  
埼玉県教育功労賞・文部科学大臣表彰  
令和三年春の叙勲瑞宝双光章受章

では大勢の方々から、沢山の浄財をお寄せ頂き、皆様の善意を教育設備の充実や同窓会室の整備に役立てることができました。

また、百十周年ではノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生のご講演を拝聴することができました。これらはすべて関係者の皆様の本校への熱き思いと並々ならぬご努力の賜と心から感謝申し上げます。

母校のご発展と皆様のご多幸をご祈念申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。



## コロナ禍の中で

第32代校長 吉岡 靖久



同窓会の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度はコロナ禍の影響により、入学式、文化祭など、学校行事はことごとく中止とせざるを得ず、生徒には残念な思いをさせていただきましたが、今年度は、規模を縮小したり非公開にするなど工夫して、感染防止に努めながら、なんとか開催することができました。修学旅行も、沖縄から東北方面に変更して実施しました。

また、校内のwi-fi環境が整ったことで、緊急事態宣言期間中も生徒の学びを止めることなく、リモートで授業を実施することができました。今後の感染再拡大に備え、より効率的なリモート授業の研究を重ねているところです。

111年の良き伝統を踏まえつつ、新たな時代に対応した魅力あふれる春日部女子高校とすべく、教職員一同、全力を尽くしてまいります。今後とも、御支援御協力をよろしくお願いいたします。

# 活躍する春女生

### ◎令和元年度 全国高等学校\*ビブリオバトル大会優勝 印南 舞さん

現在3年生になった印南さんに聞きました。

#### Q1 全国大会に出場することになったきっかけは？

中学の時ビブリオバトルを知りました。高校入学後図書委員となり、ビブリオバトルと出会い、県代表として全国大会に出場し優勝しました。

#### Q2 紹介した本は？

丸山正樹著 「デフ ヴォイス」文芸春秋社です。

#### Q3 ビブリオバトルに出会って変わったことは？

ずっと人前に出ることが苦手でしたが、今は誰かに自分の話を聞いてもらえることがすごく楽しいです。本との出会いが人との出会いを運んでくれました。

と終始笑顔でさわやかに答えてくれました。



優勝時の印南さん

#### ※ビブリオバトルとは

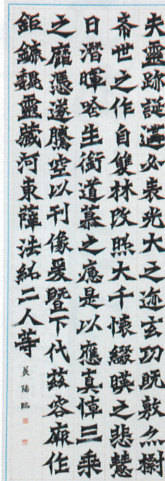
だれもが開催できる本のコミュニケーションゲームで、大会参加者が面白いと思った本を持って集まり、一人5分の制限時間内で紹介する。質疑応答後、参加者全員が一番読みたくなった本を投票し、最多票を獲得したものを、チャンプ(優勝)本とする。

### ◎令和3年度 陸上競技部 全国大会出場へ 競歩

2年生の高土居美貴・彩美さんの双子姉妹は、関東大会で活躍し、彩美さんが全国大会に出場決定。

### ◎全国高等学校 総合文化祭へ 出品 書道部

令和元年度は、3年生の山崎いかさんが、2年度、3年度は中村美陽さんの作品が全国大会に連続出品されました。



中村美陽さんの作品

### 春女最新ニュース

令和4年度から新たな夏服が加わります。生徒は従来の夏服と合わせて自由に選択できます。





# 県立春日部女子高等学校 創立110周年記念文化講演会

演題 「神岡での研究を振り返って」

2020.12.22実施

講師 東京大学教授(ノーベル物理学賞受賞) 梶田 隆章 先生



質問に答える梶田先生・美智子さん



講演中の梶田先生  
「春日部ファミリー新聞」より



講演を聴く春女生

春日部女子高等学校創立百十周年の記念文化講演会が、春日部市民文化会館で開催されました。講師は、二〇一五年、ノーベル物理学賞を受賞された梶田隆章先生です。埼玉大学で出会い結婚された美智子さんが、春女の卒業生であることから実現しました。

先生は、内外の研究者と長年研究された内容を、映像を使って講演されました。春女生は、事前に学習をして臨んだのか専門的な質問が沢山出ましたが、先生は柔和な顔で、丁寧に答えてくださいました。

お二人の出会いやノーベル賞受賞後の晩餐会の様子等、ユーモアを交えての応答に、会場が和やかになりました。世界と比べると、日本の女性の研究者が少なく、研究者への道も、選択肢の一つとして、ぜひ、目標をもって学んでほしいというノーベル賞受賞者のお話は、春女生にとって示唆に富む貴重な体験となりました。

## 令和3年度

# 県立春日部女子高等学校 文化講演会

2021.10.21実施

演題 「Fly towards your dreams !」

講師 高校42回卒 佐野 一恵 氏(旧姓：竹内)



春女時代の佐野さんは、理数系を得意とされ常にトップクラスの成績を維持し、塾にも通わず、現役で法政大学英文科に進学しました。大学時代は航空部に所属し大空を飛び回っていて、パイロットを目指す決意をしたということですが、当時、女性がパイロットになるには大変難しい時代でした。そんな折、自衛隊が女性にも門戸を開くということを知り、受験し合格。両親の反対を押し切って、自衛隊初の一等空尉のパイロットになったのです。男社会の中での厳しい訓練を乗り越え、教育飛行隊の教官任務にも就きましたが、自衛隊での飛行時間は何と三〇〇〇時間というベテランとなり、飛行部からデスクワークに仕事が変わりました。しかしながら、女性パイロットとせずと飛び続けたいという夢を追う佐野さんは全日空へと転職する決断をし、現在に至っています。この時も、自衛官出身の女性民間パイロットとして脚光を浴びました。

常に道なき道を切り開いていったパイオニアとして輝き続ける佐野さん、そして、今なお夢を追いかける先輩の佐野さんの姿は、生徒たちの心を強く動かし希望の光を与えてくれたことでしょう。

同窓会としても、輝かしい活躍を続ける佐野さんの姿は眩しく、誇らしく、胸躍ります。今後の佐野さん、どんな夢に向かって飛んでいくでしょうか。

令和三年度の文化講演会はコロナ禍のため、三年生のみ講演会場で、一、二年生は教室でテレビを通じた視聴という形で実施されました。

現役のパイロットとして活躍している佐野さんは、気負った雰囲気は全く感じさせず、さわやかに優しさを全身にまとった素敵な女性でした。

「Fly towards your dreams」と題した講演は、終始穏やかな口調で淡々とご自分の半生を語るものでしたが、後輩に向けての熱いメッセージは生徒たちの心に強く響きました。









# 先生からのお便り



## 春女に感謝



理科教諭  
佐藤 勝男  
昭和39年～54年在職

「よくわかってる人が、よくわからない人に、良くわかるように教える」を新任教員としての課題とした。良くわかってる人を目指して、お茶の水女子大の有機化学講座、写真短大やカウンセリング講座。三十歳で三つ目の部、剣道顧問になってから週二回町道場に通った。生徒たちは優秀であった。打てば響くがごとくに反応した。理科研究の県展、全日本写真コンクール、関東剣道大会インターハイ。多くの実績を残した。国立大学合格者数において、春女念願の久喜高校越えを果たした担任学級もある。継続した剣道は七十歳で教士七段を取得した。学び続けたカウンセリングは定年退職後、青森明の星短大(本

部は浦和)の教授、学長補佐する副学長としての職務を九年間全うさせた。八十一歳になった今、これらを振り返り、「春女に育てられた」と、感謝の気持ちになる。



現役で剣道部の指導をしています

## 春女の思い出



世界史  
阿部 恒之

私は平成十七年から十年間、社会科の主に世界史の授業を担当してきました。令和三年三月に定年退職となり、今は再任用で週三日勤務しています。現任校では授業を教えた春女の卒業生と一緒に働いています。教え子と同じ職場で働くという経験はこれまでなかったのですが、春女卒業生の教育界での活躍を改めて感じています。

春女で過ごした十年間で二回、卒業生を出しましたが、思い出深いのは部活動指導です。競技経験のないバドミントン部の顧問を務めてきましたが、自分達で考え、何事にも前向きに取り組む生徒に支えられてきました。途中からは百周年記念誌にも寄稿されている木村弘巳先生を外部指導者に迎え、先生の丁寧な指導で生徒が上達していく様は見えていて楽しかったです。最後に、春女がこれからさらに歴史を重ね発展していくことを祈っております。

## 春女ふたたび



保健体育科  
内田 圭子

令和二年四月より再任用で勤務しています。春女には昭和五十八年に新任教員として着任し平成四年まで勤務させて頂きました。教員としての基礎を学び卒業したつもりだったので不思議な縁です。当時の体育科の先生方は、個性を活かした授業をされ、寛容で厳しさと温かさに満ちた指導に接し、本当に勉強になりました。

生徒の皆さんとの思い出も沢山あります。体育祭の準備・本番の熱狂、文化祭でも色々なことをやりましたね。競馬新聞を作って馬券を売りグラウンドを走った方々はお元気でしようか？秋のLHRでは落ち葉を集め焼き芋もやりました。球技大会・強歩大会、修学旅行等々、もちろん授業も部活も楽しく懐かしいことばかりです。私が定年まで辿りつけたのは、春女生に鍛えて頂いた御蔭です。ありがとうございました。これからも母校と後輩を応援しましょう。

※恩師の森久子先生(国語)が、令和三年度の埼玉文学賞の短歌部門の正賞を受賞されました。ここに先生のご了解を得て、掲載させていただきます。



## 正賞受賞 しののめの空 より

色彩が叫んでゐるとはこんな空しののめ一気に焼けてくるなり  
どたばたもじたばたもせぬ齢よはひなどあろう筈なしあたふたと今日  
脇目ふらず茅花つばなの原を走る雉子こ悪くないなあ鳥になるのも

歌人名 森 暁香さとか





# 会員からのお便り

## 八十路を越えた今



小出 賀子 (高校10回・本名河内)

10代の頃、60才代の方はお婆さんと言う印象が強かったですが、八十路を過ぎた私は、どの様に見えているのだろうか、改めて振り返させられました。

幼少より絵画を、10代で華道・茶道を、20才の誕生日よりスキーを始め何時の間にか全て指導する立場になり現在に至っております。が、指導者とは言え私自身今だに指導を通して多くを学ばせて頂いております。雪上での指導も目標を米寿迄はと決めたものの、人生100年時代、終盤が見えて来た現在です。気力は絵かきですので、好奇心・探求心は私なりに残っておりますが、体力には限りがございます。5年前には北スベインの巡礼の道を、5日間で130K程歩きましたが、年々体力は減少しております。今後は健康寿命を少しでも延ばせるよう、せつに願いつつ、限りある人生一日々々を大事に過ごしている昨今です。

## 心を軽くしてくれた

### 主人のことば



梶田美智子 (高校29回・旧姓鈴木)

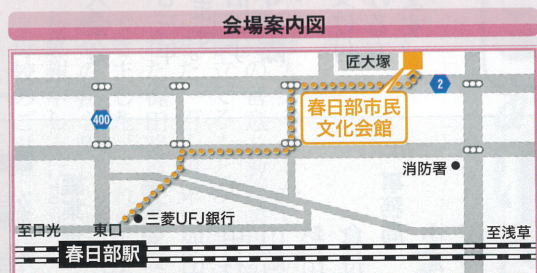
小学校の教師をしながらの結婚生活はそれまで実家でのほほんと過していた私には結構大変でした。学校の仕事を持ち帰り家事をしながら仕事もする。お風呂の水を溜め始め、そろそろいいかと思いつくと栓を忘れて水が流れっぱなしになっていた事が何度かありました。それでもお料理を作ったり掃除に洗濯、やる事がたくさんあっても充実していました。しかし徐々に疲れが溜ってきて、気持ちが悪くなり毎日塞ぎ込むようになりまして。部屋の角にふわふわしている綿ぼこりを見てはため息をついていました。ある日、そんな私の姿に堪り兼ねて主人が、「綿ぼこりで人は死なないよ。みちこがそんな顔してるのはイヤだ。掃除なんかいいからいつもニコニコして欲しい!」と。それ以来私のネジは、だいぶ抜けてしまっています。

## 春女での思い出



尾城 千鶴 (高校33回・旧姓野中)

春女を卒業して長い年月を経て令和二年に今度は教員として再び来ることができたことは、感慨深い思い出です。昔のことが昨日のこのように次々と浮かんできます。同級生が作曲した「忘れないで下さい」という歌は、当時皆が好きな歌で、今もなお春女手帳に残されていることをうれしく思います。その歌の中にある「赤い屋根」の木造校舎は大変趣きのあるものでした。活気とパワー溢れる環境のものでよい友達に恵まれ、日々心豊かに穏やかな気持ちで高校生活を過ごすことができましたことは人生の土台となっております。吹奏楽同好会を部にするために部員全員で奮闘したことや行事を全力で行なったことなどたくさん思い出があります。高雅な品格とひまわりのような明るさと強さや、やさしさを持った春女生がこの先も様々な場所で活躍されることを心より願っております。



春日部駅東口下車徒歩10分

※新型コロナ感染防止の関係で、2年間総会を開催出来ませんでした。コロナ禍を考慮して令和4年度は午後からの開催とし、例年通り春日部市民文化会館で行います。ご友人をお誘いの上、ご出席下さいますようお願い致します。

### 連絡先

〒344-8521

春日部市粕壁東六―

春日部女子高等学校 同窓会事務局

☎〇八〇―四九〇五―〇四二九

※準備の都合がありますので、事前に出席の旨お知らせ下さい。

### 内容

総会行事

アトラクション等を予定

### 会場

春日部市民文化会館 三階会議室

―春日部駅東口より徒歩十分―

### 日時

四月二十九日(祝) 午後一時三十分より

皆様のご出席をお待ちしています。

## 令和四年度 同窓会総会のご案内

どなたでも参加できます。



# 卒業生によるコンサート



持木 文子 (高校20回)

た事が出来なくなり、気持だけでは解決出来ない事が増えて、自分を見つめ直す事が出来る時間でした。

声楽家は、自分で調律をやり続け、音程、言葉、音量等に常に気を付け、皆様に歌に込められた中身をお届けしなくてはなりません。それが出来なくなる日が続いていくのかはわかりませんが、努力を続けていこうと思います。

第八回のコンサートは何としても開催するつもりでおりますので、その時はどうぞお出かけ下さいます様、宜しくお願ひ申し上げます。

卒業生によるコンサートも第七回を終え、何人もの後輩の皆様にお会いする事が出来ました。ありがとうございます。安東前会長、同窓会の皆様のご協力に感謝いたします。

二〇二〇年に予定していた第八回は、チラシも出来上がり、出演者も決まっていたのですが、コロナ禍で中止に致しました。

コロナ禍で大変な思いをなさっていらっしゃる方もおられますが、私自身は音楽活動が全く出来なくなり、突然のお休みをいただき有難く思っております。年を重ねるごとに、若い時に出来てい



第20回卒 持木さんのコンサート当日集まった古希を祝った仲間たち

## 協力 お願い

●同窓会は、卒業時の入会金で運営されています。この会報「ひまわり」も三年に一度発行されています。貴重な会費を有効に活用する為、改姓住所変更等の際は必ずご連絡ください。●資金面での協力も受け付けています。ご寄付頂ける方は連絡をお願いいたします。

## 第8回 春女高卒業生による声楽と器楽のコンサート

2022年10月1日(土) 13:00開場 13:30開演  
会場：春日部市民文化会館・小ホール  
出演：持木文子(ソプラノ) 島崎弥生(ソプラノ) 柴田百代(ソプラノ)  
山崎範子(ピアノ) 古川多津代(フルート)  
チケット：1,900円  
販売：4月29日総会后、予約販売の予定

今後のコロナ感染状況によっては開催できない場合もあります。

## 編集委員

編集長

中山由美子(高校26回)

編集委員

坂田 庸子(高校12回)

中村 昭子(高校16回)

山崎 純子(高校16回)

熱田かつ枝(高校20回)

倉持 園江(高校25回)

事務局

中島 君子(高校20回)

深澤 幸子(高校20回)

## 編集後記

コロナ拡大により、東京オリンピック・パラリンピックも無観客となり、世の中が目まぐるしく変わりました。

編集委員会も延期を余儀なくされましたが、マスク着用・三密回避しながら第22号をお届けすることができました。携わっていただいた方々に心よりお礼申し上げます。

本号より、題字「ひまわり」を桐川会長にお願いしました。会員相互のかけ橋となる同窓会だよりを、春女時代を感じながらご覧いただけたらと思います。

(中山 由美子)